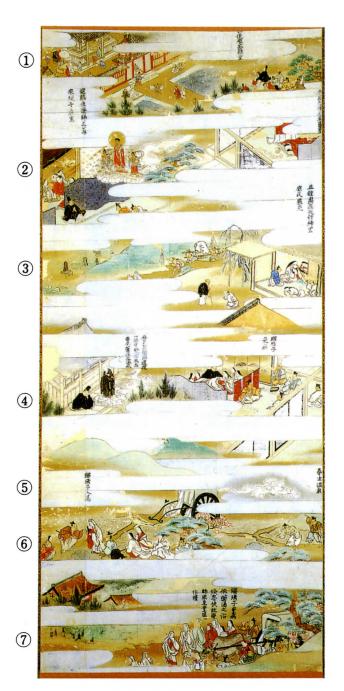
福岡県指定有形文化財

武蔵寺縁起

第三幅



※紙本著色 画面 61.5cm×141.2cm

全5幅からなる武蔵寺縁起絵図は、 江戸時代中期(18世紀)に描かれた とされています。

また、江戸時代中期以前に定應 という武蔵寺の僧侶によって書かれ た「椿花山武蔵寺薬師如来縁起」が 明治期の写本としてあり、縁起絵図 とともに武蔵寺伝説を伝えるものと して貴重です。

- ①武蔵寺の評判は都まで広まり、勅使が遣わされた。
- ②虎麿の夫人は月光によって身ごもり、薬師 如来の光が夫人を照らすと、無事女の子 (瑠璃子)が生まれた。
- ③疫病が流行し、多くの村人が死亡した。
- ④瑠璃子も病にかかったが、一人の僧侶が現れて、東方の田の中にある温泉に入れると平癒することを告げた。
- ⑤その場に行くと、たちまち温泉が湧き出し た
- ⑥お告げどおり、瑠璃子を入湯させた。
- ⑦そして瑠璃子の病はなおった。

椿 花 山 武 蔵 寺 縁 起 (写)

以下は武蔵寺縁起絵図第3幅にあたる箇所を抄訳したものです。

▼縁起(写)の一部

ţ 苦 妊せり たて身分具足志視る者 歓喜 瑠 麻 甚らく命危く見えけもな,乕 至感應すれてけるかい 深 †: 瑀 呂 (も危躰の苦脳忽ちょ止て容 女子 方とら 如来者と 蝕 生 あり し **其** 12 を絶えんと 开多 端

十二寺をはじめ、本堂内外の仏閣は天に光 り輝き、はかり知れないほどの宝玉が彫り込 まれている。堂は完成して椿花山武蔵寺と名 づけられた。ときの天皇である天武天皇は、 この一連の不思議な話に関心を示され、霊仏 が出現された大変珍しい地であるということ で武蔵寺を勅願所に定められた。 (中略)――― ところが、虎麿には子供がい ないことが悩みであった。子を授けて下さい と心から如来に祈ると、しばらくして虎麿の 夫人の口に月の光りが入り、その夜夢をみて 身ごもったという。しかし、この子はたいへ んな難産で夫人の命も危うくなったので、虎 麿は一心に「南無薬師瑠璃光如来臨当産時受 於極苦若能至心称名礼讃恭敬供養彼如来者」 と祈ると、不思議なことに東方から薬師の三 尊が現れ、眉間からの光線が夫人を照らすと たちまち苦しみはやわらぎ、無事女子が生ま れた。その子はたいへん可愛らしく、身体も 健やかで、如来の加護によって生まれたこと から瑠璃子と名づけ、父母ともこの上なく大 切に育てた。ところが、そのころ世間に大腫 病が流行して大変な数の人々が死亡した。田 舎のほうの民は特にこの病にかかるものが多 く、父母をなくし、あるいは妻子をなくし、 また一家全員が死亡することも珍しくなかっ た。村によっては半数ほどが死亡するところ もあり、人々はみな疫病の伝染を恐れて親戚

さえもたずねることがなく、家を捨て山野に 移り、仮住まいなどしてその 禍 を避けよう とする者が多い。瑠璃子もこの病にかかった。 病状は日に日に重くなり、全身に瘡腫ができ て血膿が流れ、強い臭気を放って近づきがたい ほどであった。苦しみ泣く様はとても見てお れず、父母は最悪の病にかかってしまったもの だ、と生きた心地もせず悲しみにくれた。色 々と手立てをしたが、いっこうに効果は現れ なかった。すがるような気持ちでお祈りを続 けたところ、7日目の夜の夢に一人の僧侶が 現れ、清らかな声で虎麿に言った。「おまえは 心から薬師如来を信仰し、長く誠意をつくし てきた。いま娘を病から救おうと如来にすがっ ている。私もなんとか手立てをしなければな らない。ここから東の方に行った田の中に常 に湯気が立ち込めているところがある。おま えがそこへ行けば温泉が湧き出るであろう。 その湯につかり身を清めれば娘の病気はたち どころになおるであろう」と言い終えると姿 を消した。夢からさめた虎麿は大いに感謝し、 早速その場所に行ってみると、温泉が湧き出 し、暖気がせまってきた(是が今の薬師温泉 である)。 虎麿は心から感謝して娘をその 湯につからせると、 病気はうそのようにな おった。

(註) 縁起には、 (中略)の箇所に絵図第4幅 「壬申の乱」の話が挿入されている。

筑紫野市教育委員会 🕡